

武庫川女子大学大学院

# 臨床教育学研究科 **●**修±課程 / 夜間開講 博士後期課程 / 昼夜開講

さまざまな入試制度

■個別入学資格審査 ■現職教員・対人援助職特別選抜

仕事と学びの両立支援

■ 長期履修学生制度 ■ 中央図書館21:30まで開館 ■ 保育ルーム利用可



6/13(日)·11/21(日)

ホームページでご確認ください。 http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/



# 複合的な視点からの研究が可能に!

一人一人の問題意識を3領域の教員が総合的に指導します

大きな社会変化に伴い、子どもを取り巻く環境は急速に変容しています。子どもの育ちをサポートする大人たちも、その変化に対応すべく、教育や支援のあり方を模索してきました。その過程で、不登校児に対する教育・支援にしても、教師や学校だけで、あるいは教育学の観点のみから児童・生徒らの状況を理解し、対策をたてることは難しく、多様な職種(カウンセラー、ソーシャルワーカー、医療機関、行政等)と学問領域(心理学、福祉学、精神医学等)から複合的な取り組みを行う必要性が分かってきました。

このような取り組みは、今日では当たり前になっていますが、"臨床教育学研究科"では1994年より、教育学・心理学・福祉学からなる学際的・複合的なアプローチを先駆的に採用しました。さらに、"臨床"の場で子どもを支援する様々な専門職が集まり、経験を活かしながら多角

的に事例を検討し、理解し合うことを目指して、働きながら学べる夜間制大学院としたのです。 その後、社会人学生からの様々な要望を受け、 学校のみならず福祉や医療の現場で活動され ている"対人援助職"の方々にも対応できるよう カリキュラムの改善に努め、今日に至っていま す。よって、本研究科で学ぶ社会人は、学校や保 育関係者の他、心理職や福祉職、看護職、さら には司法関係者にも広がっており、専門職間で の議論や学び合いが修了生の満足につながって います。

四半世紀を越える歴史をもつ臨床教育学研究科では、483名の修士課程修了者を輩出し、博士号取得者は75名を数えます(2020年度末時点)。今後とも、学際的な観点から、"対人援助職"の皆さんが抱える課題をともに考え、専門領域を超えて学び合う環境を整えるとともに、最新の学術的成果を取り入れながら、社会のニーズに応える教育を進めてまいります。

皆さまとともに学び合えますことを、研究科教 員一同、楽しみにしております。

武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科研究科長 安東 由則

# ■ 求める学生像(アドミッション・ポリシー)

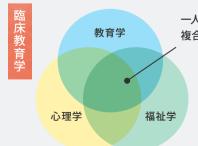
主として学校教員、福祉などの専門機関や施設、病院、企業、 行政などで対人援助にかかわる専門職にあり、教育学、心理 学、福祉学の各分野から、乳幼児から高齢者までの各ライフス テージにおける、発達・適応援助に関する理論的・実践的・臨床 的研究を志す者を求めます。実践現場からの視点だけでなく、 総合的・学際的な専門知識と実践能力を身につけ、修了後も引き続き現場でその能力を発揮しようとする者を歓迎します。

#### ■ 教育課程の特色(カリキュラム・ポリシー)

「教育学」「心理学」「福祉学」の3関連分野からなる教育課程が編成されています。「臨床教育学総合演習」では、受講生の現場での問題に対して、3分野の教員がそれぞれの視点からスーパーバイズする、複合的な学習を試みています。

必修科目の「実地研究」では、指導教授ごとに任意の臨床現場を見聞し、学生自らの経験と対照させながら議論することで、現場への理解をより深めることを目指します。

#### 臨床教育学の概念図



# 一人一人の問題意識を 複合的に捉える

大学院に在籍する人が関心を持つ課題を従来の領域別ではなく、3分野の教員が総合的に指導します。3分野の複合的な視点から興味関心を考え研究する能力が身に付きます。

#### 取得可能な資格

専修免許状が取得できます!※1

- 幼稚園教諭 小学校教諭
- ■中学校教諭※2 高等学校教諭※2
- ■養護教諭
- ※1 当該免許状に係る各校種、各教科の一種免許状 を有し、修士課程において必要な科目及び単位 数を取得すること。
- ※2 ほとんどの教科に対応します。詳しくは募集要項かHPをご覧下さい。

# 臨床教育学研究科の特色

## 車攻分野

本研究科は臨床教育学研究科として全国で初めて設立された大学院です。「修 士(臨床教育学)」、「博士(臨床教育学)」と、臨床教育学を記した学位を授与する 大学院は本研究科だけです。従って臨床教育学という新しい学問分野の開拓者、 先駆者たる自負をもって、教員も学生も努力しています。本研究科修士課程にお いてはこの新しい専門分野の専門職の養成と再教育を主とし、博士後期課程に おいては高度な専門職養成に加えて研究者養成も行っています。すでに博士号を 取得し、研究職として活躍している方も多数おられます。(この他、博士後期課程 には、昼間開講の教育学分野と臨床心理学分野があります)





▲ ゼミの様子

▲ 研究発表

# 夜間制・主として社会人対象

修士課程と博士後期課程(臨床教育学分野)については、夜間開講を実施し ています。1日2時限というカリキュラム上の制限があるので、土曜日の午後も利 用して授業を行っています。夜間開講は、有職の社会人の学ぶ意欲に応えるも のです。有職の大学院生は、それぞれの職場での勤務を終えた後、大学院の講 義や演習、特別研究(論文作成)などの授業に臨んでいます。社会人としての 様々な経験や実践を踏まえながら、大学院で学び合うことで、新たな対人援助 技能や高度な研究能力・教育能力の研鑽を行っています。

現在は、リモートでの授業参加も可能です。



▲ 授業の様子



▲ ゼミの様子

### 多様な学生による異文化交流

社会人を主とする本研究科の大学院生は、職業、職位、年齢、学修 歴などにおいて、バラエティー豊かです。それぞれの職場での勤務を 終えた後、午後6時10分から始まる授業に駆けつけ、熱心に臨んでい ます。様々なライフ・ヒストリーをもった社会人たちが、大学院に自 分たちの経験を持ち寄り、互いに交流することは、異職種・異文化交 流ともなっており、幅広い視野、多様な情報、新鮮な刺激が得られま す。こうした環境は、社会人学生はもとより大学からストレートで進 学した学生や現場経験の浅い社会人にとっても、大きな刺激となっ ているようです。在学中に育まれた学生間のネットワークは、修了後 も続いています。

# 学際的な教育と研究

本研究科は、複雑な教育問題や福祉問題、そして看護など医療現 場における対人援助のあり方の解明にあたって、学際的な研究方法 と教育課程を採用しています。

修士課程においては教育学・心理学・福祉学を三本柱としていま す。学生それぞれの関心や研究テーマを尊重しつつも、巨視的、学際 的な視野から、アプローチする態度と能力を養うよう、カリキュラム 工夫を行い、いわゆる「マニュアル人間」にならないよう配慮をしてま す。また上記3つの学問分野の他、教育調査・統計法、その他関連す る分野についても講義を提供しています。教師に限らず、家庭、地域、 行政、病院、福祉施設、企業などの対人援助職にとっても、学際的ア プローチは極めて重要であり、本研究科はこのような対人援助の実 践家やその志望者の入学を歓迎しています。

# ▶ 臨床的研究の場

本研究科の重要な教育課程の1つとして、臨床教育学にとって不可 欠な臨床経験の場の提供があります。その代表は「実地研究」です。 臨床教育学という性格上、臨床現場での経験は「臨床の知」を得るた めにも、臨床の技法をレッスンするためにも不可欠です。有職の社会 人学生にとって、自らの職場は最も身近で切実な問題発見、臨床活 動、研究対象となり得ますが、本研究科では多くの「実地」への参加、 その観察や分析のための場を用意し、そこでの実地研究が行われて います。

#### ▶ その他

本研究科は、幼・小・中・高等学校の教員一種免許状の所持者がそ れぞれの教科の専修免許状を取得できる「課程認定」を文部科学省 から受けています。また、臨床教育研究懇談会や小講演を実施して、 学内外の専門家の講義と意見交換の場を設けるとともに、学外の専 門家による学術講演会、臨床教育シンポジウム、国際セミナーなどを 毎年開催しています。教員や学生の論文発表のため、「臨床教育学研 究」や「臨床教育学研究科研究誌」を発行しています。





# 教員からのメッセージ(2021年度現在)



教授 安東 由則

研究科長 教育社会学

様々な職種、年齢の社会人が夜間の授業に 集まり、互いに学び合っています。教員よりも 年長の方もおられ、社会人経験が豊富な方も 多く、教員としても刺激を受け、学ばせても らっているというのが正直なところです。もち ろん社会人経験の浅い方も大歓迎で、教員ば かりからではなく、幅広い学友から触発され ることも多いと思います。授業見学の機会も ありますので、気軽にお越しください。



教授 上田 孝俊

臨床教育実践学 教師論

私は公立小・中学校の教員をしていました。 その間、大学院で学ぶ機会も得ました。児童・ 生徒との間で繰り広げる今日の教育実践は、 教育学における最重要な課題を提起していま す。それを一歩引き下がって、少し広い視野か ら見つめるときに、解決の方途が見えてくると 考えます。実践される人々を支え、課題の先が 展望できる研究活動となるようにと願ってい ます。



#### 教授 押谷 由夫

道徳教育学 教育学 臨床教育学

「あなたの悩みは何ですか」と問いかけられて、何と応えられるでしょうか。どのように応えられようと、それはあなたの生き方とかかわっています。道徳教育とは、その生き方を入間としての在り方や生き方という視点から深く考え、子どもたちはもちろんのこと、あなた自身の未来を拓いていくものなのです。私は臨床教育学の基盤に道徳教育があると確信します。道徳教育を基盤とした臨床教育学を皆さんと一緒に創っていこうではありませんか。



教授 河合 優年

発達臨床心理学 発達援助学 発達行動学

当研究科(修士課程)は夜間で、主として社会人を対象に設置されています。ゼミ生には、学校・幼稚園などの先生、看護師などの医療職、弁護士などの司法関係者、子育て支援関係者、福祉施設関係者、そして学部からのストレートマスターなど、さまざまな領域の方々が学んでいます。さまざまな視点からの意見を交換できる私どもの大学院の門をたたいてみてください。



教授 中井 昭夫

発達行動小児科学 小児精神神経学 臨床発達心理学

発達とは、遺伝的素因と胎児期からの身体性を介した環境との複雑な相互作用の連続的変化なのですが、この環境には、いつ、誰と、どんな出会いをするかということも含まれます。当研究科で、子どもの発達を支えるひとりの大人として、リサーチマインドと高い専門性をもつジェネラリストに、また、多職種と繋がる力、繋ぐ力を身につけて欲しいと思っています。



教授 倉石 哲也

ソーシャルワーク 児童家庭福祉論

臨床で起きていることを学問するためには、理論的な裏付けやデータ分析などが重要ですが、最も大切なのはパッションではないでしょうか。臨床の場で困難を抱えている人の代弁者になり社会を少しでも良い方向に変えていく、といったパッションです。臨床教育学は、当事者の立場に立った、真摯な学問だと考えています。

No Passion, No Life!



准教授 中尾 賀要子

ソーシャルワーク 老年学

世の中には色々な人がいて、様々な考え、価値観、信条があります。みなさんが関心を持っている社会問題について、今まで交流したことのなかった異業種の方々と意見を交わし、理解する機会を設けてみませんか。日本社会の枠組みを超えたグローバルな視点を得る学術的な時間、また人として深みを増し、自己の成長を感じるひとときを大学院で共有してください。







修士課程と博士後期課程「臨床教育学分野」(夜間)を担当する専任教員のみを掲載しています。 博士後期課程「教育学分野」「臨床教育学分野」(昼間)の教員については、 臨床教育学研究科ホームページをご覧ください。

# 授業見学(予約制・無料)

大学院の授業に対して不安を抱かれている方もおられますので、授業の様子を知っていただくため、授業見学を実施しています。 教員、在学生ともに歓迎いたしますので、気楽にお申し込みください。

2021年度 前期	月	火	水	木	金	土
6限目 18:10~19:30	学校と子どもの心理			臨床福祉学特論I	子ども・家庭福祉学特論	3限 14:00~15:20 臨床教育学特論
担当者名	上田 孝俊			倉石 哲也	倉石 哲也	上田 孝俊
7限目 19:40~21:00	生徒指導特論	教育社会学特論		現代教師特論	人間•社会福祉学特論	
担当者名	押谷 由夫	安東 由則		押谷 由夫	中尾 賀要子	
2021年度 後期	月	火	水	木	金	土
6限目 18:10~19:30	道徳教育学特論			教育福祉特論I		<b>3限 14:00~15:20</b> 現代子ども理解特論
担当者名	押谷 由夫			倉石 哲也		上田 孝俊
7限目 19:40~21:00	人権教育学特論				社会調査法	
担当者名	押谷 由夫				中尾 賀要子	

お申し込み方法

見学希望日の10日前までに下記 ①~⑥ をご記入の上、<mark>rinkyo@mukogawa-u.ac.jp</mark>宛にメールを送信してお申し込みください。 見学日の詳しい内容については、後日メールで連絡させていただきます。詳しくは <mark>http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/</mark> の「授業見学」ページをご覧ください。

① 氏名

- ④ 見学希望授業名
- ② 連絡先(メールアドレス)
- ⑤ 所属もしくは職業(任意)
- ③ 見学希望日
- ⑥ 希望理由、質問等(任意)

受付期間

前期 4月5日(月)~7月10日(土)

後期 9月6日(月)~12月23日(木)

なお、学内行事等により休講となる日や、授業進行上ご参加いただけない日も ございます。ご了承ください。

# オープンキャンパス

日時

2021年6月13日(日)、11月21日(日)

会場

中央キャンパス 研究所棟3階 304室・306室

内容

第1部・・・研究科の説明会、体験授業、在校生・修了生の声 第2部・・・個別相談、研究発表等展示ブース

参加ご希望の方は rinkyo@mukogawa-u.ac.jp宛にメールを送信してお申し込みください。詳しくは http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/をご覧ください。

授業見学およびオープンキャンパスに参加ご希望の方は、右記QRコードを読み取っていただき、メールフォームを立ち上げて いただくと自動的にメールアドレスが宛先に入力されます。必要事項をご記入の上、お申し込みください。



# 学生メッセージ

大学院の学びを

多職種の方とのディスカッションで刺激を受け、捉 え方や解釈の仕方は経験知によって違うことが学 びになります。(看護師/40代女性)

職場だけでは得られない学びがあり、「正解」では なく自分なりの考えを構築していくことに意味を 感じています。(教員/40代女性)

振り返って

他領域を学んで視野を広げ、研究方法を学ぶため に進学したが、発想の転換や視野を広げることの 大切さを学びました。(助産師/50代女性)

大学院での学びや修士論文に取り組むなかで、現 場での実践の振り返りや自分自身を見つめ直す 機会となりました。(保健師/40代女性)

受験生への メッセージ

自分の考えのまとめ方、根拠をもとにする主張、口 頭や文章で表現するトレーニング法を学べ、高齢 者にも優しい研究科です。(非常勤講師/60代男性)

得た知識を臨床場面に置き換え、疑問への糸口を 見つけ出し、職場に還元でき、自分を内省するとて もよい機会になると思います。(看護師/40代女性)

教育、心理、福祉の面での学びを通して、自分の 課題が相対的に明らかになり、違ったアプローチ が考えられます。(幼稚園教諭/40代女性)

修士論文は予想以上に大変でしたが、級友と授業 を受けることで楽しい学びになり、共に過ごした仲 間との出会いが宝物になります。(教員/50代女性)

# 在学生インタビュー(2020年度 在学生)



日常の出来事に、 科学的根拠のある意味付けをし、 未来の社会や実践に生かす。

障害児通所施設で療育の仕事をしていた際に、集団生活の場で子どもの気持ちに寄り添い適切な対応をしていくことに課題意識を持つようになったのが、大学院進学のきっかけです。大学院での学びには、これまで感覚的に対処してきた日常の出来事に、科学的根拠のある意味付けをすることで、それが未来の社会に生かされるという喜びがあります。現在は保育士をしており、実践の裏付けとなる理論を大学院で学ぶことで、より良い保育実践につながるのではと期待しています。



自らが壁にぶつかった 現任教育の答えを求め 大学院へ。

病院での現任教育を担当し、講義やOJT などに取り組んできました。ただ、スタッフ が育っているという実感が持てず、このままの教育でいいのかという疑問が常にあり、解決の糸口になればと入学を決めました。研究では、看護師のワークライフバランスへの配慮と「看護の質低下」などに悩む中間管理者(現任教育担当者)が、現任教育に関してどのようなことを問題視し、工夫しているのかについて考察。また、現場で感じている苦悩や困難を抽出し、今後の現任教育に反映させたいと考えています。



保育士としての 成長や発達について 考察を深める。

大学卒業後に保育士として働き、現在も 大学職員として様々な人と関わる仕事をす る中で、対人援助について多方面から考え を深めたいと思い大学院に進学しました。 保育士を対象に、子どもとのかかわりや、 自分自身と向き合うことを繰り返す中で、 保育士としてどのように成長、発達していく のか、ということについて研究したいと考 えています。テーマはまだ絞り切れていま せんが、指導教員やゼミ仲間と意見を出し 合う中で、毎回新しい考え方や気づきがあ り、とても貴重な時間になっていると感じ ています。



他業種の方と関わり、 意見を聞く中で、 自身の世界が広がった。

幼稚園や保育所で25年働いてきました。 近年、子どもと一緒にどうやって遊びを創ればいいのか悩む保育者に出会う機会が増えました。経験と勘で保育に取り組み、アドバイスを送ってきましたが、「保育で何を大事にすべきか根拠をもって伝えられるようになりたい」と思うようになり大学院に進学。他業種の方と関わり、職場だけでは出てこない意見などを聞く中で、自分が大事にしてきたことが相対的に見えるように、多様な考えに触れる体験を通して、自身の世界も広がりました。



職業や年代の違う方々との ディスカッションが 大きな刺激に。

看護学校の母性看護学の担当教員として学生と関わる中で、母性とは、親性とはということを自分なりにずっと考えてきました。その答えを教育・心理・福祉という幅広い分野から学びたいと考え、本大学院に入学。ディスカッション形式の授業も多く、年代も職業も違う様々な人の意見を聞くことで刺激を受け、発想の転換などにも役立っています。研究では、母性看護学を受講した学生に「親性」の芽生えや気づきについてインタビューし、そのきっかけとなった事柄について分析することを考えています。



社会人の方々から 聞くことができる 現場の実践の話もいい学びに。

大学時代は、理系の学部に所属。研究活動や大学時代の学友会活動の経験では、仲間と支え合う人間関係の大切さを学びました。その経験から「もう一度、教育学を中心に幅広く人間関係について学び直したい」と考え大学院へ。授業などで社会人の方々から教育や看護、福祉など様々な職場の実践を聞くことができ、現場の具体的な出来事をイメージしながら学ばせてもらっています。また、教育・心理・福祉の3つの観点から勉強することができるのも魅力です。

# 修士課程の入試案内

※詳しくは学生募集要項でご確認ください。

#### 募集人員

研 究 科	専 攻	募集人数
臨床教育学研究科	臨床教育学専攻	16名

#### 出願期間(最終日消印有効)

前期募集	2021年7月9日(金)~7月26日(月)
後期募集	2022年1月17日(月)~1月27日(木)

#### 試験

試 験 科 目		前期試験	後期試験	
筆記試験	〔専門科目〕教育学、心理学、 福祉学の3分野に関する論述問題	2021年8月21日(土) 9:30~11:00	2022年2月12日(土) 9:30~11:00	
面 接		2021年8月21日(土) 13:00~	2022年2月12日(土) 13:00~	

#### 現職教員•対人援助職特別選抜

#### ■ 対象者

- (ア)出願時に保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、短期大学、大学 において、週3日以上の勤務を2年以上継続している保育士・教員。
- (イ)出願時に医療・福祉系の国家資格を取得・保持しており、かつ対人援助の職場で、週3日以上の勤務を2年以上継続している者。
- ■「実践研究レポート」の提出をもって、専門科目の代替試験とします。面接は実施します。

#### 個別入学資格審査

4年制大学を卒業していない方でも、個別入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があることが 審査委員会で認められれば出願資格を得ることができます(ただし、2022年3月31日までに22歳に達しているもの)。 受付期間:前期募集 2021年6月14日(月)~6月26日(土) 後期募集 2021年11月15日(月)~11月27日(土)

#### 過去の入試問題

過去の入試問題は過去1年分のみ配布しています。

#### 推薦入試について

武庫川女子大学を2022年3月卒業見込みの、教育・心理・福祉などの対人援助職を希望する者を対象とします。 出願期間、試験日は上記後期募集日と同一で、面接を実施します。

# 博士後期課程の入試案内

## 募集人員

研 究 科	専 攻	募集人数
臨床教育学研究科	臨床教育学専攻	6名

#### 出願期間(最終日消印有効)

募集	2022年1月17日(月)~1月27日(木)
77 A	

#### 試験

	試験科目	日	時
筆記試験	臨床教育学(夜間)、教育学(昼間)、臨床心理学(昼間)の各分野より 志望する分野を一つ選択(各分野の専門領域から出願)		9:00~10:20
外国語科目	英語(各分野共通問題) ※英和辞典持込可、電子辞書は不可		10:40~12:00
	口頭試問		13:20~

#### 個別入学資格審査

個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があることが審査委員会で 認められれば出願資格を得ることができます(ただし、2022年3月31日までに24歳に達しているもの)。 受付期間:2021年11月15日(月)~11月27日(土)

#### 長期履修学生制度

2010 (平成22) 年度より、「長期履修学生制度」を導入しています。修士課程を最長4年間で、博士後期課程を最長6年間で 履修計画することにより、仕事や家庭と学びの両立を支援します。

※ 長期履修の場合、修士課程では2年間の授業料、博士後期課程では3年間の授業料を在籍年数で割った金額が、各年の授業料となります。 詳しくは、お尋ねください。

# 臨床教育学研究科の行事(2021年度予定)

※行事については、場所や方法(オンライン等)が変更になる場合があります。 事前にホームページでご確認ください。

ホームページにつきましては 右記QRコードよりご覧いただけます。

臨床教育シンポジウム



#### 学術講演会

6/12(土) 14:00~16:00 (受付開始13:30)

LGBTとAllyのための大学教育 ~女子大におけるダイバーシティの実現~



11/13(土) (13:00~16:00 (受付開始12:30)

私たちは何をしてきたのか -福島とソーシャルワーカーの10年(仮)-



講師

三橋 順子 氏

明治大学、都留文科大学等非常勤講師

場所

未定:ホームページで お知らせします シンポジスト 福島県

県北方部ソーシャルワーカー

場所 未定:ホームページで

お知らせします

学術講演会と臨床教育学シンポジウム終了後、入試説明会及び個別相談を実施します。

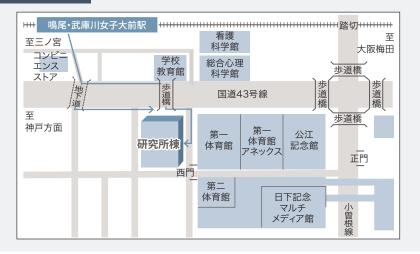
その他の行事: 小講演会、臨床教育研究懇談会、国際セミナー、教師を語る会など

※行事の開催についてはHP http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/ でお知らせしています。



案内地図

阪神電車 鳴尾・武庫川女子大前駅からの経路徒歩約7分



# 大学内に保育ルームがあります

本学では、就学支援のために夜間大学院学生も利用できる 学院内保育ルーム(ラビークラブ)が設置されています。





詳しくは、男女共同参画推進室のホームページで確認してください。 http://www.mukogawa-gsankaku.jp

入試に関する お問い合わせ

臨床教育学研究科 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 武庫川女子大学大学院 TEL 0798-45-3534(教育研究所事務室直通) FAX 0798-45-3553 TEL 0798-45-3500(入試センター) http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/

資料請求

武庫川女子大学 https://edusys.net/mukogawa-u/nyushi/shiryo/